

セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2023.12 No.236

今月のトピック

- 特集 P.2-5
「未来の平和」に向けて、「世田谷区平和資料館」へ
- まちの市民力 P.6
ケアコミュニティせたカフェ
- お知らせ P.7
世田谷ボランティアセンターリニューアル進行中！

●イラストレーター きのみ
趣味は絵を描いたり友達と遊びに行くことです！

●わたしの世田谷
私は世田谷の自然豊かで春になると桜が綺麗に咲いていて、お花見シーズンには砧公園が人で賑わっているところが好きです！



世田谷区は、40回目の終戦の日である1985年8月15日に、「平和都市宣言」を行いました。それから30年、宣言を具現化する平和資料館が2015年8月に、世田谷公園の側に開設されました。ウクライナ、パレスチナ・・・世界のあちこちで戦争が止まらない今、「過去」を知り、「現在」を理解し、「未来」を展望するために、平和資料館に足を運んで、感じ、考えてみませんか？



朝日新聞の社会部記者を長年務められた岩垂弘さんは、1966年から広島・長崎の被爆の実相と核兵器廃絶運動をずっと取材してこられました。退職後もフリーのジャーナリストとして、毎年8月には現地を訪れ、今年の夏が54回目となりました。岩垂さんは訴えます。

「最近とみに感じるようになってのが、被爆体験の継承をこれから先どう果たしていくのかということです。核兵器がもたらす残酷さ、悲惨さを世界の人たちに分かちてもらおうと、最も効果的なのは被爆者のみなさんの証言ですが、被爆からすでに78年。被爆者の数が年々急速に減り、今や11万3千人余しかおられません。最も多かった1980年の三分の一です。この分で行くと、被爆者がいなくなる時が必ず来ます」。

被爆者に代わるインパクトのある「証言者」は、写真・絵・マンガだと岩垂さんは思うようになります。

り、「しかも世界が、ウクライナ戦争を契機としてかつてないほど核戦争勃発の危機を迎えており、被爆の真相を伝える写真・絵・マンガなどがこれまでも増して大きな役割を果たすだろう」と考えました。そこで、これまでの取材で所蔵するようになったさまざまな文献を引き取ってくれる場所を探したところ、都内で平和資料館があるのは世田谷のみだと知り、世田谷区民の私が仲立ちすることになりました。

さっそく区を通じ平和資料館に話がいき、二つ返事で「受け取ります」との返事。岩垂さん所蔵の「写真と絵でみるヒロシマ・ナガサキ」30点の中から、世田谷にはない21点が寄贈されることになりました。

「戦争がなければ平和？」

世田谷公園の中にある世田谷区立平和資料館は、太平洋戦争終戦

から70年目の2015年8月に開設されました。その20年前に玉川小学校の中に設けられた平和資料室がその前身です。区民なのに実は一度も行っていないかった私は、岩垂さんの文献が収まる場所は、どんなところだろうと、この機会に訪れてみることにしました。宮阪館長が直々にガイドをしてくださる、贅沢な訪問です。

入るといきなり、「戦争がなければ平和?」と書かれています。



宮阪館長（写真右）と諸橋専門員（写真左）

戦争中が平和でないのは間違いないけれど、戦争がなくても平和でない状況はある、つまり貧困や人権問題、環境問題、いじめなども平和を脅かすものであることが示されています。この資料館の愛称が「せたがや未来の平和館」とされているのにも、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えるだけでなく、現在の状況を見据え、未来の平和を展望しようという意志が表されています。

その考え方に基づき、資料館は3つのステップに沿った事業を展開しています。「過去を知り、感じ、考える」ステップでは、平和ではなかった状態に置かれていた人々の経験を知ること。「現在を理解する」では、現在も続く「平和でない」状況を、SDGs、貧困、ジェンダー、差別などのテーマの展示から考えること。そして「未来を展望する」。これは平和の恒久的な実現のために世田谷区で何ができるかという課題を、区民

による意見交換や区内の大学等の機関との連携、ワークショップなどを通じて模索していこう、という事です。

身近なところで

「戦争」を感じ、考える

展示では、まず太平洋戦争という過去を、ここ世田谷から辿りまします。多くの区民から寄せられたものが展示されています。当時の軍服や、いわゆる赤紙、出征の際の寄せ書き、戦時下の食べ物、等。動物の皮は犬や猫まで供出された時代、鮭の皮で作った子どもの靴には驚かされました。

世田谷の国民学校（今の小学校）の多くの児童が集団疎開で長野や新潟で学校生活を送っていた、という事実は、子どもたちに戦争をより身近に感じさせるものでしょう。また、私たちには馴染みの駒沢公園から世田谷公園にかけては、駒沢練兵場として軍事訓練・

演習を行う場所だったし、昭和女子大、三宿中、富士中、筑波大付属中・高などの学校もほとんどが軍事施設だったところです。

戦争が終わり、それぞれが公園や教育施設になって本当によかった、と思うと同時に、二度と戦争のための場所にしてはならない、という思いを新たにします。

日本は戦争によって甚大な被害を受けましたが、アジアの国々、人たちに対しては加害者でもあった、という事実も展示によって語られています。「従軍慰安婦」「南京大虐殺」「731部隊」などについても言及されており、思い切った展示だなあと思っており、と、「ここに書いてあるのは、採用された教科書の記述に沿ったものなので、それに対する抗議はほとんどありません」とのこと。

太平洋戦争が主ですが、沖繩戦についての展示も後に加えられました。そして終戦から現代まで、ウクライナに至るまで世界の各地

で続く紛争についても年表の形でわかりやすく説明されています。

「未来の平和」に向けて

世田谷で「未来の平和」に向けて何ができるか、宮阪さんに伺いました。世田谷の子どもたちはここをどのように知り、利用しているのでしょうか。「近隣の小学校はここに歩いて来ます。バスを停める場所がないのが難です。1月には玉堤小学校6年生の3クラスがオンラインで、戦争体験の語り部の方とつながりました。中学校には巡回展を行い、3年間で29校すべての学校を回るようにしています。中学生の時に一回は見ていることになるでしょう。また、夏休みの自由研究に資料館を利用する子どもは多いです」。

資料館のことを知らせる広報活動として毎年、区報の8月15日号で告知しています。区内の大学でも資料館とのコラボがなされていて

ます。昭和女子大の「戦後史史料を後世に伝えるプロジェクト」、駒沢大学の「教職課程科目」などです。これからも若い世代に平和のバトンを渡すいろいろな試みがなされればと願います。

「平和」に向けて、区内でコラボ！

クイズやスタンプラリーもある資料館。ここを訪れた方からのアンケートに答える言葉がすばらしいです。やっぱり見て、知ることが第一歩。宮阪さんは、「平和は、好奇心があつてこそ。一緒に考えていきたいですね。世田谷ボランティアセンターは近くなので、ぜひ協力して、歴史をたどる街歩きなどやってみたいです」と魅力的な提案をしてくださいました。

常設展の他に、その時々々に企画展も行っています。関東大震災から100年目の今年、「災害と平和」と題する企画展が9月に行われました。関東大震災後に起きた

平和資料館 (愛称: せたがや未来の平和館)

ライブラリー



戦争体験のインタビューを「語り部DVD」に収録し、貸出もついています。

所在地 / 池尻1-5-27 世田谷公園内

開館時間 / 午前9時～午後5時

(入館は午後4時45分まで)

休館日 / 毎週火曜 (祝日の場合はその翌日)、

年末年始 (12月29日～1月3日)



詳しくはこちら
(区のホームページ
平和資料館)

大学生によるトークイベント



大学での演習



昭和女子大学の歴史研究のプロジェクトや、駒澤大学の演習に活用されました。

朝鮮人虐殺の状況などを伝えるというものです。政府は「記録が見当たらない」という立場を取っている中、世田谷でも朝鮮人殺傷事件が起こっていた、という事実が当時の新聞記事やビラなどにより展示されました。資料館は、「過去の悲惨な事実を伝えることで、災害時にどう行動すべきかの教訓にしてほしい。差別や偏見のない

世田谷区報 令和5年8月15日号より一部抜粋

社会を築くことにつながれば」と企画展の意味を語っています。

これからも起こりうる災害の時に、デマに惑わされず、パニックに陥ることなく冷静に判断できるように、歴史にきちんと学び、向き合うことはとても大切なことと思えます。それこそが、資料館が目指す「未来へのまなざし」にながるのでしょうか。

大切なのは、「記憶の語り継ぎ」

資料館に仲間入りした岩垂さんからの資料はとても貴重なものです。原爆に関する報道は米軍により一切禁止され、ようやく解禁されたのが1952年。解禁直前には岩波書店が、子どもたちの作文を集めた「原爆の子―広島少年少女の訴え」を出版し、反響をよびました。52年8月には、アサヒグラフの特集「原爆被害の初公開」に無残な写真が初めて載りました。

今年9月16日の朝日新聞は、朝日、中国、毎日の各紙と、広島市が、原爆の記録写真1532枚について、ユネスコの「世界の記憶遺産」登録に向けて、文科省に申請したと報じています。被爆写真のもつ意義はこのことから明らかです。

「核兵器なき世界の実現に貢献する」との願いをこめた資料館を訪れた岩垂さんは、「日本の『加害』の問題をきちんと伝えていくことにとっても感銘を受けました。自分が子ども時代を過ごしていた長野に、世田谷から大勢の児童が集団疎開に来ていたのを知り感慨深かった」と語ります。

そして、記憶の語り継ぎがどんなに大事かと。資料館では三人の専門員の方がいて事前に申し込みをすればガイドをしてくださいます。世田谷公園を散歩しながら、ぜひとも多くの方に訪れていただきたいところですよ。

取材 / 編集委員 星野弥生



～福祉と住民をつなぐコミュニティ～
ケアコミュニティせたカフェ

まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



*けあまちカフェ (11/12 開催) 写真上
*もちよりカフェ (9/22 開催) 写真下

ケアコミュニティせたカフェは、中澤まゆみさんから世田谷区に立ち上げた、医療・介護・福祉と住民をつなぐゆるやかな多職種コミュニティです。「ケア」と「福祉」をキーワードに誰もが認知症になっても当たり前で暮らせる社会を目指して、どんな方でも参加でき、自分のやりたいことを実践できる場づくりを進めています。

ナ禍でリアル開催は中止、最近はおオンラインでの開催を余儀なくされました。そんな中、3年ぶりに「もちよりカフェ」をこの4月に、「認知症カフェ」もこの11月にリアル再開。後者はこれを機に、ケアとまちづくりを縦割りなしで考える場として「けあまちカフェ」と名称を変更。現在は「けあまちカフェ」「もちよりカフェ」「土曜お茶会」の三本柱で活動しています。

3年半ぶり、11月12日(日)に開催された第1回目の「けあまちカフェ」のゲストは、レビー小体型認知症の当事者ながら、自分の見た幻視をイラストにした「幻視展」を各地で精力的に開催し

ている三橋昭さん。三橋さんは、2018年11月に幻視が見え始め、翌年3月に確定診断。最初は不安もありましたが、主治医の勧めで品川区の認知症カフェ「みんなの談義所しながわ」に参加、そこの活動を通じて様々なつながりが生まれ、今の活動につながったそうです。出会いの場、特に自分の生活に合った場を探すことが大切と話されていました。

せたカフェ主宰の中澤さんは、100人いたら100通りの症状があると言われる認知症を知るには本人の体験を聞くのが一番と言います。そして、認知症を早期に見てきたとしても、周囲のサポートがなければ絶望せざるを得ない状況が未だあります。会の立ち上げから10年、これまで続けてきたのは認知症に対する偏見を希望に変えようという、強いながらもゆるやかにつながる意志。ぜひ活動に参加してその雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか。

ケアコミュニティせたカフェ : <https://www.facebook.com/setacafe>

*「けあまちカフェ」は不定期、「もちよりカフェ」は100人の本屋さんにて毎月第4金曜に、「土曜お茶会」はオンラインにて毎月第3土曜に開催しています。

世田谷ボランティアセンター リニューアル進行中！

12月末まで、世田谷ボランティアセンターがある建物全体は大規模改修中ですが、1階にある世田谷ボランティアセンターの工事がひとまず完了しました。1階の工事が終わるまで、2階に仮事務所を置き仕事をしていました。その間に打ち合わせを重ね、「センターをリニューアルするのなら、ウエルカム感をもっと出そう」、「もっと相談しやすい雰囲気や場所にしていこう」など、今まで頂いていたご意見をもとに、職員内で何度も打ち合わせをして、センター全体をリニューアルしています！

セボネを入稿するタイミングの記事なので、まだ完全ではないですが、写真のように、入口付近にボランティア相談と災害担当の職員がいます。「こんなことができたらいいな」や「すごく困っています」など、どんな小さなことでも構いませんので、まずはお気軽にご連絡ください。



撮影したこの日はあいにくほとんどの職員が外出していて私一人で写っています（笑）

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランテア協会では、ボランテアの力を必要としている方と、ボランテアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランテア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦勞をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組みボランテアを探して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法があるかを、一緒に考えます。

●問合せ/世田谷ボランテアセンター
TEL 5712・5101

援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランテアセンター 担当 高居・原口
TEL 5712・5101
takai@otagaisama.or.jp

ボランテア求む

小 難病20代男性の外付け添いボランテア求む

ハンチントン病の20代男性が、外出に付き添ってくれる男性ボランテアを求めています。病気の影響で体幹が弱いですが、手をとって歩いてもらえれば、安心して外出ができます。行先は、フラインドサッカーの練習会場。得意なサッカーを活かして、週末にフラインドサッカーチームでアドバイザーをしています。練習会場の行き帰りの付き添いをお願いしたいです。まずは問合せください。

●日時/練習(土曜または日曜) 2〜3時間(往復1〜2時間程度) 月2〜3回(頻度は応相談)
●場所/自宅(桜丘)と練習会場(日替わり)の往復
●交通/千歳船橋駅徒歩3分
●条件/男性(同年代希望)、交通費実費支給
●問合せ/世田谷ボランテアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisama.or.jp

京 知的障害のある方が通所する施設までの付き添いボランテア募集

知的障害のある男性(40代)が通所する施設への往復に、一緒に付き添って歩いてくださる方を求めています。危険がないよう見守りながら付き合っていただけの方、お待ちしています。

●日時/月々金 行きは自宅を朝8時半に出発/施設まで、帰りは施設を12時に出発/自宅まで(週に1回でも、片道のみでも結構です)
●場所/自宅(上祖師谷2丁目)

から鳥山福祉作業所(北鳥山1-29-15)までの往復
●交通/自宅から施設までは徒歩約30分
●条件/時給1000円、交通費別途支給、緊急介護人に登録していただきます
●問合せ/鳥山ボランテアビューロー
TEL 6909・0333
karasubora@otagaisama.or.jp

東 自宅から学校の登下校に付き添ってくれるボランティア募集

世田谷区内在住の知的障がいのある女の子が、自宅最寄り駅(田園都市線の駅)から後楽園駅近くの学校までの登校または下校に付き添ってくださる方を必要としています。女の子は、高校3年生でおとなしい性格です。電車での移動には慣れており、乗り換える駅や路線などは理解しているのですが、基本的に彼女が移動するのを側で見守っててください。週1回からどうぞ。

●日時／(登校)月・木・金で自宅最寄り駅7時40分ごろ待ち合わせ、8時40分ごろ学校着。

(下校)水曜16時30分に学校前にお迎え、17時30分ごろ自宅最寄り駅着

●場所／後楽園近くの学校と自宅最寄り駅の間

●条件／女性、交通費支給

●問合せ／玉川ボランティアビュー

TEL 3707-3528

mailto:tamabora@otagaisama.or.jp

水 視覚障害のある方と社交ダンスを楽しんで下さる方募集

視覚障害のある方々が集う社交ダンス団体のDSひまわりでは一緒に活動して下さる健常者の方を募集しています。年3〜4回オンラインダンス競技会にも参加しています。社交ダンスを通じて交流を深めながら、本格的にダンスの世界を楽しんでみませんか？

●日時／毎週金曜日13時〜16時

●場所／

①第1・第3金曜日は希望丘地域

体育館(船橋6・25・1)

②第2・第4金曜日は世田谷児童相談所(松原6・41・7)

●交通／①経堂駅または千歳船橋駅よりバス②梅ヶ丘駅徒歩5分

●条件／社交ダンス経験者 参加費500円

●問合せ／DSひまわり

担当 小瀬(おせ)

090-5510-9976

世 車いす利用者の付き添いにご協力いただける方募集

世田谷2丁目の70代男性が、出かける際に付き添ってくださる方を求めています。読書や音楽鑑賞、人と会話することが好きな方です。男性とお話を楽しみながら協力して下さる方、お待ちしています。男女不問。また、本人との顔合わせ・初回とお試しの際はスタッフが同行します。

①水曜か金曜日の13時半〜15時半

●日時／

(2週間に1回)はスーパーや図書館へ

②火曜日14時〜16時半(月1回程度)は通院から帰宅時(世田谷・上町近辺)

●場所／世田谷・上町近辺

●交通／上町駅徒歩7分程度

●問合せ／北沢ボランティアビュー

TEL 3420-2520

mailto:ktabora@otagaisama.or.jp

京 視覚障害者の健康体操をサポートして下さる方を募集しています

視覚障害者の方を対象とした健康体操を行っているグループの活動の準備や片付け、近くの駅やバス停までのサポートをして下さる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

●日時／水曜か金曜日の13時半〜15時半(2週間に1回) or 火曜

日14時〜16時半(月1回程度)

●場所／主に烏山区民センター

●交通／千歳烏山駅

●条件／視覚に障害がある方と関わった経験がある方

●問合せ／烏山ボランティアビュー

TEL 6909-0333

mailto:karasubora@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

有償スタツフ募集

東 80代男性の見守りをお願いします

- 車いす生活の81歳の男性(桜新町2丁目在住)が、奥様が留守の時に一緒にいてくださる方を求めています。寡黙ですが元気な方です。将棋と一緒にやってみてくださると嬉しいです。トイレ介助(スポンジの上げ下げのみ)をお願いするかもしれません。男性の方の応募をお待ちしています。
- 日時/月に1回程度 2時間
- tambora@otagaisama.or.jp

東 施設利用者の送迎車運転スタツフ募集

- 小田急線「千歳船橋」駅より徒歩10分のところにある、高齢者ケアセンター(「テイサービス」)の利用者の朝・夕の送迎車の運転をしてくださる方を募集しています。車の乗降時の簡単なお手伝いもお願いすることがあります。詳細はお問い合わせください。
- 日時/月曜日〜土曜日(曜日、時間応相談)、7時45分〜10時15時45分
- 場所/有隣ケアセンター
- 交通/千歳船橋駅徒歩10分
- 条件/時給1200円以上
- 問合せ/社会福祉法人東京有隣会有隣ケアセンター
- 担当 古橋
- TEL 3482・3003

講座・その他・募集

小 「学生と一緒に活動したいと考えている方々必見!」
「せたがや学生ボランティアフォーラム」参加者募集

- このフォーラムでは、世田谷区内で活動する大学生がボランティア活動について発表し、地域とのつながりについて考えます。学生はもちろぬ、地域の方々、そして、学生と一緒に活動したいと考えている市民活動団体、福祉施設等の方々も、ぜひご参加ください。
- 日時/12月16日(土) 14時〜16時30分※13時半より受付開始
- 会場/成城ホール(世田谷区成城6-2-1)
- 交通/成城学園前駅徒歩3分
- 参加費/無料
- 申込/世田谷区生活文化政策部市民活動推進課
- ①TEL 6304・3174
- ②インターネットで「せたがや学生ボランティアフォーラム」と検索
- 問合せ/世田谷区生活文化政策部市民活動推進課
- TEL 6304・3174
- FAX 6304・3597

京 2023年度 防災シンポジウム
「在宅避難と遠隔避難」

- 世田谷ボランティア協会が主催する防災シンポジウム。今年度は、在宅避難と遠隔避難をテーマに震災時の避難と地域コミュニティについて、様々な角度から話し合います。予約制でひととき保育もあります。
- 日時/1月13日(土) 13時30分〜15時30分※13時より受付開始
- 会場/烏山区民会館(世田谷区南烏山6-2-19)
- 交通/千歳烏山駅下車徒歩1分
- 参加費/無料
- 定員/先着200名
- 申込/せたがや災害ボランティアセンターHP内の専用フォーム、またはメールが電話にてお申し込みください。
- 問合せ/せたがや災害ボランティアセンター
- TEL 5712・5101
- sagit-info@otagaisama.or.jp

東 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編） @日本体育大学

2023年度5回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座基礎編」を日本女子体育大学にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

●日時／1月27日（土） 13時30分～16時30分※13時より受付開始

●会場／日本体育大学 世田谷キャンパス
（世田谷区深沢7-1-1）

小 もっと語ろう不登校

これまで29年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お話し合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／12月2日（土） 14時～

●場所／人の泉・オープンスペース

Part 284

スロウ（赤堤1・15・13）
またはZOOM会議

●交通／豪徳寺駅徒歩8分

●条件／事前申し込み制

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 佐藤 090・9248・1355
[sbtou@yahoo.co.jp]

●交通／桜新町駅より徒歩15分
またはバス5分「日本体育大前」で下車

●参加費／無料

●申込／せたがや災害ボランティアセンターHP内の専用フォーム、またはメールか電話にてお申し込みください。

●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712・5101
[saigai-info@otagaisama.or.jp]

Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAーシステムによるマッチングサイト（世田谷版GBER「ジーバー」）で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記二次元コードからご覧ください。



東 世田谷ボランティアセンター大規模改修のお知らせ

世田谷ボランティアセンターは、12月末まで大規模改修を行っています。その間、会議室・印刷室などの利用ができなくなります。利用再開は2024年1月5日（金）の予定です。会議室利用予約は11月1日（水）から受付開始します。期間中、センター窓口受付対応については以下の時間帯で対応いたします。

火～金 9時～21時

土・日 9時～17時

※事前連絡の上お越しください。

●物品の貸し出し
車いす、白杖の2点です。その他物品の貸し出しは早めにご相談ください。ご不便をおかけし申し訳ございませんが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障害にともなう「困った!」を話せる場所●

- 地域障害者相談支援センター ほーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405
- スペースココカラ。(ほーとせたがや・パートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

12月16日(土) 成城ホールで、せたがや学生ボランティアフォーラムを開催します。学生はもちろん、地域の方々、そして、学生と一緒に活動したいと考えている市民活動団体、福祉施設等の方々も、ぜひご参加ください。詳しくはP.10をご覧ください。

◆ふらっと& withより

あつという間の師走。つい先日まで半袖で過ごしていたものの、気がつけば街はジングルベル。残りひと月を健康で過ごし、新しい年を迎えたいと願う今日この頃です。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

12月15日(金)、16日(土)に、世田谷のポロ市に出店します! 活動紹介の他、八女の物産品やボランティアさんの手作りを販売します。寒いと思いますので暖かい服装でぜひお越しください。

編集後記

■戦争については、授業でも学びましたし、祖父母からもたくさん聞きました。戦争のリアルを伝える写真展も見に行き、自分事として「戦争の悲惨さ」を感じてきました。ウクライナとロシアの戦争、イスラエルとハマスの戦争、その他世界各地で起きている内戦や紛争。世田谷でも戦争の爪跡が残っており、世田谷平和資料館で学ぶことができます。私も数年前に一度お伺いしましたが、岩垂さんが寄贈された資料も見に行きたいと思います。(近藤)

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811

●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
●ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
●発行人
横山 康博

